

# 統計

## ●最近世界銑鐵產出高

年次	一九一三年佛砲	一九一四年佛砲	一九一五年佛砲
米國	三一、四六一、六一〇	二三、七〇五、四五八	三〇、三九四、八七二
獨乙	一九、三〇九、一七二	一四、三八九、五四七	一一、七九〇、一九九
英吉利	一〇、六四九、六二八	九、一四九、九九二	八、九三四、三五八
加奈陀	一、一二八、九六七	七八三、一六四	九二八、三三九
塊洪國	二、三六九、八六四	二、〇二〇、〇〇〇	一、九六〇、〇〇〇
佛蘭西	五、三一、三一六	五、〇二五、〇〇〇	四、七五〇、〇〇〇
白耳義	二、四八四、六九〇	一、五六〇、〇〇〇	不 明
伊太利	四二六、七五五	三八五、三四〇	三九五、〇〇〇
露西亞	四、五四八、三九六	四、二六一、〇〇八	三、六九六、五六〇
西班牙	四二四、七四四	四三五、〇〇〇	四一九、〇〇〇
瑞典	七三〇、三〇〇	六三五、一〇〇	七六七、六〇〇
其他	五五〇、五〇〇	四九五、〇〇〇	四八〇、〇〇〇
合計	七九、三九五、四七二	六二、八四四、六〇九	六四、五一五、九二八

之れに依て見れば一九一三年(大正二年)の世界銑鐵產出高は最大にして翌一九一四年は歐洲大戰亂勃發に依り不況を來たし千七百餘萬砲の減額を見るに至れり一九一五年に至りて漸く復活市況活氣を呈し來れり尙同年中に於ける原鑛處要量は左の如し

鐵 鑛	一億二千九百萬砲
骸炭用石炭	六千五百萬砲
動力用石炭	二千萬砲乃至二千五百萬砲

## ●英國鐵鋼業狀況

(倫敦駐在山崎總領事代理より八月二十九日附外務省に達したる報告)

▲鐵鑛の產出 昨千九百十五年英國に於ける鐵鑛の產額は約千二百九十七萬噸にして之を其前數年の產額に比すれば左表の如し(左表の數字は英國鐵鋼組合の調査に據る)

千九百十二年	一三、七九〇、三九一
千九百十三年	一五、九九七、三二八
千九百十四年	一四、八六七、五八二
千九百十五年	一一、九七六、一〇五

千九百十五年の產額中二百六十萬噸はリンコルンシャー、二百五十萬噸はノー、サムプトンシャー、百三十萬噸はガムバランドシャーより產出せられたるものにして同年は戰時鐵鑛の需要多大なりしに拘はらず勞働の供給充分ならざると鐵道車輛船腹の缺乏等は自然鐵鑛の產出に影響を及ぼし其產額稍々減少を見たり本年に入りては英國内地鐵鑛の產出は餘り拵々しからすと云ふ

▲鐵鑛の輸出入 千九百十五年英國への鐵鑛の輸入額は約六百二十萬噸にして、千九百十四年分の輸入額五百七十萬噸に比せば稍々増加を現はせるも千九百十三年分の七百四十四萬噸に比較せば多少の減額を示せり鐵鑛の輸入の大部分は西班牙よりせられアルジェリア、諾威等よりも多少の輸入あり本年に入り鐵鑛の輸入額は少しく増加し本年上半

季の鐵鑛輸入額は三百三十八萬九千五百八十噸にして昨年同期に比し三十二萬六千六百五十五噸を増加せり英國產鐵鑛の輸出額は千九十五年には僅に約千六百餘噸にして例年に比し多額の減少を見たるか是れ英國の鐵鑛輸出を禁止したるに職由す

▲製鐵製鋼業及鐵鋼の輸出 千九百十五年に於ける英國銑鐵の製産額は八百七十九萬三千六百五十九噸にして前年に比し十三萬百十四噸を減少せり千九百十五年の銑鐵製産額は其種別に依り分類せば左の如し(單位噸)

Forge	一〇、二四、〇六三
Foundry	一、五七三、五七五
Basic	二、二七二、六八四
Hematite	三、五六四、二七六
Spiegel, Ferro-Manganese, Ferro-Silicon	二五五、四八四
Direct Castings	一〇三、五七七
其他	五三、〇〇〇

而して千九百十五年に於ける銑鐵の總輸出額は六十一萬千六百十七噸にして總輸入額は十九萬九千八百八十噸なるか故に千九百十五年英國に於て消費せらるへかりし銑鐵總額は八百三十七萬二千噸なり昨年英國に於ける鍛鐵材(鐵板、線、管、桿等を指す)の製造額は百一萬五千九百一十一噸にして又同年英國に於ける鋼鐵産額八百五十萬十五噸鋼材(鋼、板、線、棒等を指す)の製造額は六百三十二萬五千八百四十四噸なり昨夏英國政府は軍需省を特設し國內の鐵工所機械工場の大部を徵發し之を軍需省監理の下に置き兵

器彈丸の製出に製造力を傾注せしめたる以來其材料たる鋼鐵に對する需要激増し産業用鋼鐵製品は爲に頗る減少したるか政府は夙に海軍用にも多量の鋼材を需要し其他國內造船用にも鐵鋼材に對する必須の需要を生したるかため鐵鑛のみらず漸次鐵鋼製品の輸出を禁止せらるゝに至り今や鐵鋼の輸出は頗る困難と爲れり

▲銑鐵及鐵材の市價 銑鐵及鐵材の市價は戰時益々昇騰しつゝあり昨年及今年上四半期英國に於ける銑鐵の平均市價を示せば左表の如し

一九一五年	W. Const		Cleveland	
	Hematite	No. 1	Cleveland	No. 3
一月	八〇 <sup>志</sup>	六片	五七 <sup>志</sup>	一〇片
二月	一〇一	三	五八	七
三月	一〇三	一半	六一	九半
四月	一一三	六	六九	六七
五月	一一一	一〇	六七	五
六月	一一四	五	六九	六六
七月	一一六	三	七二	六七
八月	一一五	五	七一	六六
九月	一一四	〇	七〇	六五
十月	一一八	二	六九	一〇
十一月	一三一	三	七四	七〇
十二月	一三九	六	七九	七五
一九一六年				
一月			八四	一
二月			九七	五
三月			八七	八三

本年三月末以後は英國政府に於て最高價格を定め内國に於

て消費者への賣値段は同制限に依ることゝ爲れり又參考のため鐵材市價の騰貴を表示せは左の如し(英國北部製鐵業組合の調査に據る)(一噸に付)

△一九一四年

自十一月至十二月	六	七	七	七	四	〇
自一月至二月	六	七	七	七	四	〇
自三月至四月	九	一	三	七	一	一
自五月至六月	七	一	五	七	一	一
自七月至八月	八	五	一	八	九	四
自九月至十月	八	一	〇	八	一	一
自十一月至十二月	八	一	〇	八	一	一

△一九一五年

自一月至二月	九	一	三	七	四	二
自三月至四月	九	一	三	七	一	一
自五月至六月	七	一	五	七	一	一
自七月至八月	八	五	一	八	九	四
自九月至十月	八	一	〇	八	一	一
自十一月至十二月	八	一	〇	八	一	一

△一九一四年

自十一月至十二月	七	〇	三	七	一	六
自一月至二月	七	一	四	七	一	一
自三月至四月	七	一	一	七	一	一
自五月至六月	八	〇	三	八	一	一
自七月至八月	八	一	七	八	一	一
自九月至十月	九	〇	三	九	一	一
自十一月至十二月	九	一	三	九	一	一

△一九一五年

自一月至二月	七	一	四	七	一	一
自三月至四月	七	一	一	七	一	一
自五月至六月	八	〇	三	八	一	一
自七月至八月	八	一	七	八	一	一
自九月至十月	九	〇	三	九	一	一
自十一月至十二月	九	一	三	九	一	一

鐵鋼材に對しても英國政府は最近最高價格を定めたり

●一九一五年に於ける英國の電氣爐鋼 英國鋼工業の補充統計として鐵鋼商同業組合 (Iron and Steel Allied Trades Federation) の發表せる所によれば當初一九一五年の産額として發表せる鋼塊額八、三五〇、九四四噸(グロス)の外に猶次の如き産額ありしと。

電氣爐鋼塊	二〇、〇〇〇噸
電氣爐鋼鑄物	二、〇〇〇噸
鋼鑄物	一七七、〇七一噸

故に一九一五年に於ける鋼の全産額は一九一四年の七、八三五、一一三噸、一九一三年の七、六六三、八七六噸に比し八、五五〇、〇一五噸の多數に上れり一九一五年に於ける電氣爐で作つた鐵の合金は硅素鐵の一五〇〇噸、タンステン鐵の一二五噸クロム鐵の二、〇〇〇噸、其他の鐵の合金五〇〇噸であつた。

次に英國て一九一五年中に作業中及び設備中の電氣爐は次表に示す通りである

作業中のもの		設備中のもの	
ヘラウト	一五	一〇	基
エレクトロ、メタル(グレ)	四	六	
ソウオル、ダイキンソ)	二	一	
スタツサノ	一	四	
スナイダー	一	二	
レナイフェルト	一	一	
ストービー	一	一	
合計	二三	二二	

(The Iron Age, Aug. 24, 1916)

●一九一五年英國に於ける鐵鑛の産額 一九一五年中英國に於ける鐵鑛の産額は石炭坑より得たる五、一〇〇、〇〇〇噸を合算して一二、九七六、一〇五噸に上れり。而してこの内には石炭山として採掘せるものより得たる六、〇八〇、二一八噸、及び金屬鑛山として採掘せるものより得たる一、七九五、八八七噸を含む。

而して一九一四年に於ける合計は一四、八六七、五八二噸、一九一三年の合計は一五、九九七、三二八噸ありき。

●英國に於ける滿俺鑛の輸入 本年七月中英國にて輸入せる滿俺鑛は六月中の五〇、八二六噸に對し三三、八一七噸なりき。

八月一日迄の合計は昨年の同期間に於ける一五四、一五八噸に對し二五九、三〇九噸にして本年八月一日迄の平均一ヶ月三七、〇四四噸なり(昨年は一ヶ月二二、〇二二噸なりき)。一九一三年及一九一四年の一ヶ月平均額は夫々三九、九五三噸、五〇、〇九八噸なりき。

●米國に於ける滿俺鑛及び滿俺鐵の輸入 本年六月中に米國にて輸入せる滿俺鑛は五月中の七四、八七五噸に對し五八、一四三噸なりき。即ち本年一月より六月に至る上半期間の總計は二三二、九二六噸、一ヶ月平均三

八、八二二噸となり一九一五年の一ヶ月平均二六、七三二噸、一九一三年の一ヶ月平均二八、七五七噸を超過し新記録を作れり。一九一六年六月三十日に到る年度の總輸入額は一九一五年の同期間に於ける二〇六、八五九噸、一九一四年の同期間に於ける二八八、七〇六噸に對し四九二、八六〇噸に上れり。

最近發表せられしものによれば一九一六年自一月至三月の滿庵鐵の輸入高は夫々前三ヶ月の一四、四〇〇噸及び二〇、四二二噸に對し一九、七五二噸なりといふ。

●五月中に於ける獨逸の鋼産額

鐵鋼協會の報告によれば五月中に於ける獨逸の鋼産額は四月中の一、二〇二、五九八噸に對し一、四二二、一三七噸なりき。五月中の産額は戦時中最高額を示し且つその毎日の産額五二、三〇一噸も前月の記録五二、二八六噸を超えたり。上記五月中の全産額を種別すれば次の如し。

ベッセマー鋼	七〇一、〇九九噸
平爐鋼	九五一、〇七二噸
鋼鑄物	九六、六二八噸
坩堝鋼	九、三五六噸
電氣鋼	一四、〇八二噸

(The Iron Age, Aug. 31, 1916)

●六月中に於ける獨逸の鋼産額

六月中に於ける獨逸の鋼産額は五月に於ける一、四二二、一三七噸に對し一、三一九、七六二噸なりき。今六月中の獨逸の作業日数を二十四日とすれば一日の産額五四、九九〇噸となり開戦以來の最高記録なり(五月中の一日産額は五二、三〇一噸なり)。上記六月中の産額を種別すれば次の如し。

ベッセマー鋼	六五九、三四七噸
平爐鋼	五三九、六四七噸
鋼鑄物	九六、七八四噸
坩堝鋼	八、九四七噸
電氣鋼	一五、〇三七噸

一九一六年六月一日至る鋼産額の總計は一九一五年六月一日至る總計六一、一八七、〇〇〇噸に對し七、七四六、〇〇〇噸にて凡そ二五パーセントの増加を示せり。尙六月中に於ける銑鐵の産額は六、四九七、〇〇〇噸なれば、今や鋼の産額は銑鐵を凌駕せるものといふべし。

統計

●希臘マグネイサイトの輸出 アデン駐在の米國總領事エー、ダプリュー、ワツデル氏の報告によれば一九一五年希臘より輸出せるマグネイサイトは次の如し。

仕向地	未製のもの	酸化せるもの
英國	四三、五四五噸	七、六二七噸
米國	三三、六四一噸	六、三一八噸
佛國	一三、三七五噸	四、三三一噸
ネザールランド	一、七五〇噸	三五〇噸
希臘	三五〇噸	一〇〇噸
合計	九二、六六一噸	一八、七二六噸

希臘のマグネイサイトを産出せしが一九一五年には一三三、八五八噸に上れり。其の最なるものとす。一九一四年には未だ是等の採掘所は一七、四三〇噸の未製マグネイサイトを産出せしが一九一五年には一三三、八五八噸に上れり。

●英國に於ける鋼の輸出

七月中英國より輸出せる鐵及鋼は主として聯合國に供給せるものにてその總額二九八、九二九噸なりき、而してこの内には屑鐵は含め共鐵鑄はこれを含みます。この總額は一九一六年中の第三に位置す。尙五月中の輸出額は三九五、七五〇噸にして本年の初六ヶ月に於ける平均月額は三一三、八六四噸なり。一九一五年の平均月額は二七、〇八五八噸なりき。

七月中に於ける銑鐵の輸出額は六月の六六、一五〇噸及び一九一五年七月の六一、八〇六噸に對し六二、九一四噸にして内五三、〇一七噸は佛國に輸出せられたるものなり。一九一六年八月一日に至る銑鐵の全輸出額は五〇三、六一七噸にして一九一五年八月一日に至る一八八、三二七噸に比すればその増加の度著しきものあり。前者の總計に於て三二〇、九一〇噸は佛國へ八七、三三〇噸伊太利へ二一、〇七五噸は日本へ輸出せられたり。

七月に於ける滿庵鐵の輸出は一九一五年七月の一六、〇〇〇噸に比し僅に七〇〇〇噸に過ぎず。一九一六年八月一日に至る總計は七四、〇〇〇噸なり(一九一五年八月一日に至る總計は五七、〇〇〇噸なり)。

七月中の捧鋼の輸出高は一九一五年七月の三九、五六四噸に對し、四五、五八四噸にして、其内三六、七八三噸は佛國に向けられたるものなり。一九一六年八月一日に至る總計は昨年八月一日に至る總計二六八、一二六噸に對し四〇六、九五〇噸に上れり、而して上記昨年總計中三四五、五三八噸は佛國

に輸出せられたり。

一九一六年八月一日に至る軌條輸出高の總計は三一、七六三噸にして、昨年の同期間輸出額一五七、一九〇噸に比し其増加甚し。亞鉛引鋼板の積出は昨年の凡そ半數にして、七月中の積出高一〇三八二噸、六月は一〇、八六一噸なり。本年八月一日に至る總計は昨年の同期間に於ける一九八、五四九噸に對し九五、二二六噸にして僅に半數に過ぎず。

鐵力鈹の輸出は殆んど變化なく本年七月中三八、一七四噸、六月中三〇、三五一噸、昨年七月中は三九、五二八噸なり。而して本年八月一日に至る總計は二二六、七七二噸、昨年同期間の總計は二三七、八六三噸なり。

更に七月中に於ける鐵及鋼の輸入額を見れば本年の最高記録たる五月中の八六、三〇三噸を下る事多からざる八三、一八六噸なれ共これを一九一五年の平均月額一〇七、九四四噸に比すれば及はざる事遠きものあり。

七月中に於ける鋼塊、鋼片及薄鋼片の輸入高は六月中の一、二二三噸、昨年七月中の六二、五八噸に對し一一、二二三噸なり、本年八月一日に至る總計は八六、八九四噸にして昨年八月一日に至る二六九、八五七噸に比し頗る減少せり。この内米國より輸入せるものは本年六七、一八八噸にして昨年は二〇八、二七一噸なり。

七月中に於ける鐵鑛の輸入は七四八、〇二九噸に上り、本年八月一日迄の累計は四、一三七、六〇九噸となり昨一九一五年八月一日に至る三、六六六、七八九噸に比し増加せるを見るべし。

本年一月より八ヶ月間の總輸出額を見積れば三四、七八八、六五三封度となり、昨年の八月一日に至る輸出額二二、一二七、九一六封度を超過する事約一二、六六〇、〇〇〇封度に上り戦争のため一部の輸出を禁止したるにも拘らず積出が増加したるは興味ある事なり。

而して英國の鐵及び鋼の輸出額は年來米國のそれを超過する事遙かに大なりしに今年八月一日に至る間の平均月額か米國の七月一日迄の平均月額四三六、〇〇〇噸に比し僅かに三二二、〇〇〇噸となるは注目し得べき事實なり

(The Iron Age, Sept. 7, 1916)

### ●七月中の米國鐵及鋼の輸出入高

一九一六年七月中米國に於ける鐵及鋼の輸出額は已に戦時の最高潮に達しこれより減少すへしとの觀測なり。而して事實は豫想と異らず七月中は五月及六月に比して其の主なる種類の製産物はその價格に於いても數量に於いても共に稍々減少を見たり、然

れ共七月中に於ける作業日數及運送日數二十五日か多少貿易禁止の影響を蒙りたるものとせばまた必ずしも輸出の減退か事實に表はれたりとは斷し難し。

七月中に於ける鐵及鋼製品の積出高はこれを價格にして昨年七月の一〇〇パーセントに達したれともこれを最高の六月の記録に比すれば七、七パーセントの減少なり。此數より見れば昨年七月より三五パーセントを増し、本年五月より八パーセントの減退を見る。機械類の積出は昨年七月に比し六八パーセントの増加にて本年五月よりは四・五パーセントの減少をなせり。

機械工具の輸出は昨年七月より一〇〇パーセント増加したれ共これを本年五月中の總計に比すれば二一パーセントの減少なり。

一九一六年の七ヶ月に於ける數字を一九一五年の同期間のそれに比する時はその差甚しきを見る。これ開戦後暫くは事業界が不振なりしによる。

一九一六年一月より七月に至る七ヶ月間の鐵及鋼の總積出額は一九一五年の同期間に比し一五三パーセントの増加、一九一三年の同期間に比し一四五パーセントの増加を見たり。

これを噸數より見る時は一九一五年の七ヶ月間に比し八四パーセントの増加をなせり。機械類の輸出は一九一五年の七ヶ月間に比し八一パーセントの増加、一九一三年に比し六〇パーセントの増加をなせり。機械工具は一九一五年に比し一〇〇パーセントの増加を見たり。

一九一六年七月中の鐵及鋼製品積出高を金額にすれば七〇、三四五、一六二弗にして昨年七月は三五、八九一、五七五弗、一昨一九一四年七月は一六、七三七、五五二弗にして増加の度著しきを見る。本年六月の鐵及び鋼の輸出高は最高記録を作れるものにして七六、二五七、八八四弗なり、一九一六年一月より七月に至る總計は四四二、二四〇、一二〇弗にして一九一五年同期間は二七四、九七〇、六四五弗、一九一三年は一七九、七〇三、五五四弗なり。

七月中の鐵及鋼の輸出噸數。

一九一六年七月中に於ける鐵及鋼の輸出噸數は四九六、六二四噸(グロス)なり(昨年七月は三六八、八九三噸)。而して是等輸出高の最高記録は本年五月に於ける五四〇、五九一噸(グロス)なり。一九一六年の七ヶ月間總計は三、一二六、二三四噸(グロス)にして昨年同期間の總計は一、六七六、四八五噸なり。

左表は本年七月中に於ける鐵及鋼の輸出高及び一九一六年七月に至る七ヶ月間の總計と一九一五年の同期間に於けるものとの比較を示すものなり。

鐵及び鋼の輸出高(噸)

	七 月 間		
	七 月	七 月	七 月
銑 鐵	一九二五年 二、五八九	一九四四年 三、七七八	一九五五年 一、九〇四〇
層 鐵	〇、七三六	四、七六八	三、二七五
棒 鐵	六、七三三	六、九三四	一六、〇三八
線 材	一六、〇〇八	一四、五九八	九、一〇七三
棒 鋼	四、九五四	七、八九七	二、九三七
鋼片、鋼塊鑄塊	六、七三三	二、九二六	三、六三九八
ポルト及ナット	三、〇一〇	三、二六六	一〇、一三〇
輪 及 帶 鋼	三、一四三	三、九三三	一、三三三
馬 蹄 鐵	三、四六三	〇、八四一	一〇、一九三
切 釘	〇、五八八	〇、六〇〇	三、二六五
スパイキ(軌條用)	一、〇九〇	一、四九五	三、六四三
釘 材	一、〇五四	三、三三八	四、五〇四
釘類(タック共)	〇、七七七	〇、八六九	四、四四三
鑄鐵管及付屬品	三、八七三	六、四六六	二、七、八四四
鍊鐵管及付屬品	二、四八四	一、四四〇	七、二四六
暖房及鑄鐵汽罐	〇、三三三	〇、一九三	一、一八六
軌 條	三、一八〇	二、八三三	二、六三九
亞鉛引鐵板	二、三三三	七、三三六	四、八五三
其他の鐵板	三、〇九四	三、九一一	九、五九四
鋼 板	三、一八七	二、二七八	一〇、八三〇
鋼 薄 板	九、〇七四	七、三三三	五、九七四
建築用鐵及鋼	三、六一五	二、六八三	一、六三六
鐵 力 板	一、三八四	一、八七三	一、五九六
尖頭針金	二、九八六	四、七四四	二、九五五
其他の針金	三、三五四	三、六七九	一、三二九
合 計	三、六八八	四、六六四	三、二六三

●鐵及び鋼の輸入 七月中に於ける鐵及鋼の輸入高は一九一五年の二〇、八五七噸(グロス)に比し一四、七七三噸なり。一九一六年の七ヶ月間に於

ける總輸入高は一四五、三〇九噸(グロス)にして昨年七月は一二四、六三六噸なり。次表は一九一六年七月及び一九一六年七月三十一日に至る七ヶ月間の輸入高を一九一五年のそれに比したるものなり。

鐵及び鋼の輸入額(噸)

	七 月 間		
	七 月	七 月	七 月
滿 侖 鐵	一九一五年 五、三四一	一九一六年 三、五四六	四、〇四三
硅 酸 鐵	〇、三三四	〇、四八七	三、九七五
其他の銑鐵	一、一九四	〇、六〇六	四、一〇三
層 鐵	八、三五〇	四、六二五	一、六八九
棒 鐵	一、一八六	〇、九八七	五、三三三
建築用鐵及鋼	〇、一〇八	〇、〇〇九	一、〇三三
鋼片(合金を除く)	〇、〇六二	〇、一四五	一、〇三五
其他の鋼片	〇、七五三	一、一〇三	六、五二二
軌 條	三、〇一四	〇、五四六	四、五七三
薄板及び厚板	〇、〇七九	〇、一九八	〇、六九三
鐵 力 板	〇、〇七〇	〇、一五〇	三、一三九
線 材	〇、二〇五	〇、四九五	二、八七三
合 計	三、〇八七	一、四七三	一、四五三

●鐵道材料の輸出額 一九一六年六月三十日を以て終れる會計年度に於ける鐵道材料の輸出額は一九一四年の會計年度に於ける輸出高と共に次の如し鐵道年報(Railway Age Gazette)に表はたり。

	一九一六年會計年度	一九一四年會計年度
鐵 道 車 輛	一九一六年會計年度 二六、六六〇、〇〇〇	一九一四年會計年度 一一、一七八、〇〇〇
軌 條	一七、六八七、〇〇〇	一〇、二五九、〇〇〇
蒸 汽 機 關	一二、六六六、〇〇〇	三、六九二、〇〇〇
電 氣 機 關	四、二五〇、〇〇〇	三、三七〇、〇〇〇
機 關 部 分	七、二七四、〇〇〇	三、三五七、〇〇〇
轉轍器及其他の軌道用品	五、二六二、〇〇〇	二、五三四、〇〇〇
綴 目 板	二、四三五、〇〇〇	二、五六五、〇〇〇
ス パ イ キ	一、三九九、〇〇〇	三四六、〇〇〇

車輪	七四二、〇〇〇	四一四、〇〇〇
電信器械類	一四九、〇〇〇	一三七、〇〇〇
合計	七四、七二九、〇〇〇	三四、九一九、〇〇〇

最近に至るまで米國製貨車の供給先の最なるものはカナダ及びキューバにして又機關車はキューバ、カナダ、ブラジル、軌條はカナダ、オーストラリア、日本、ブラジル、アルゼンチン及びキューバなり。而して現今にありては米國製貨車其他の鐵道材料をロシア、フランス、スペインに多く輸出せらるゝに至れり。六月中には貨車のみにて一、六一三、〇〇〇弗輸出せられ其内一、〇八六、〇〇〇弗を露西亞に供給せり。同じく六月中には軌條一、七三〇、〇〇〇弗輸出せられ、其内フランスにのみ向けたるもの一、一八八、〇〇〇弗に上れり。又機關車は七二一、〇〇〇弗の内二七二、〇〇〇弗はスペインに向けられたるものなり。

●英國に於ける軌條の輸出 軌條の輸出は益々増加し一方輸入は減少しつつあり。次の表は當局の調査にかゝる軌條の輸出入額なり。數量は總てグロス噸にて示せり。

會計年度	輸出		輸入	
	一ヶ月につき	合計	一ヶ月につき	合計
一九一六年の前半	三四一、八五四	四、〇三九	一五九、七四	二、六六二
會計年度 一九一六年	三四〇、九七九	四、〇七六	一五九、九四	四、四九五
同 一九一五年	一五九、五七	一、三二九	一五五、〇九二	四、五九一
同 一九一四年	三三八、六三	二、八二八	一五五、〇七	一、二九二
一九一五年	三九一、四九二	三、三三四	一七六、五五	六、五三三
一九一四年	一七四、六八〇	一、四七五	一三七、七	一、八八一
一九一三年	四〇、五三三	四、〇四六	一〇四、八	〇、八七

これによりて見れば現今の輸出率四〇、〇〇〇噸四五、〇〇〇噸は今日迄の最高率なる一九一三年の一ヶ月平均を優に凌駕せり。

輸入高の記録は一九一五年の月平均六、五四三噸なりしかそれより漸次減少して一九一六年六月三十日を以て終れる會計年度には毎月四、四九五噸に下り一九一六年の前半間の平均は一ヶ月僅かに二、六六二噸となれり。

因に英國に於ける軌條の輸出は一九一三年の月平均四一、六七六噸より一九一六年の七ヶ月平均月四、五三七噸に暴落せり

●米國に於ける鐵鑛の輸入 本年六月中米國に輸入せられたる鐵鑛は一三四、一五四噸(グロス)にして六月三十日に至る會計年度の總計は一、

四二五、七一七噸となれり。一九一五年六月三十日に至る輸入高は一、一九六、〇七七噸、同じく一九一四年六月末に至るものは二、一六七、六六二噸なり。本年の前半年に於ける輸入高は毎月平均一〇四、三三四噸にして一九一五年中の毎月平均は一、七七三噸なり。

而して一九一六年六月末に至る會計年度の總輸入高一、四二五、七一七噸の内譯は次の如し。

九四、三六六噸	スペインより
二二三、五五九噸	スウェーデンより
一四二、五七〇噸	カナダより
八〇八、八五九噸	キューバより
一五六、三六三噸	其他より

六月中の鐵鑛の輸出高は二〇三、五五八噸にして一九一六年六月末に至る會計年度の合計は九二四、〇二〇噸なり。一九一五年にありては鐵鑛の輸出高は七〇八、六四一噸にして同じく一九一四年は五五一、六一八噸、一九一三年は一、〇四二、一五一噸なり。

●獨逸の銑鐵製産額 七月中に於ける獨逸の銑鐵製産額は一、一三四、三〇六噸にして一日の製産高三六、五九〇噸となり戦争以前の最高記録なり。六月中の製産高は一、〇八一、五〇七噸にして一日平均三六、〇五〇噸、七月までの最高記録なり。一九一五年七月の製産額は一、〇六四、八九九噸、同じく一九一四年七月は一、五六四、三四五噸なり。本年七月の製産高一、一三四、三〇六噸の内譯は次の如し。

一七四、七八二噸	鑄鐵
一一、六一二噸	ベツセマー銑
七二三、七五四噸	鹽基性銑
二〇六、一八三噸	製鋼用及びスピーケル、アイゼン
一六、九七五噸	鍛冶用

●一九一五年中の印度に於ける銑鐵及び鋼製産額 British Iron & Steel and Allied Trades Federation の調査によれば一九一五年に於ける印度の銑鐵製産額は二七〇、〇二七噸(グロス)にて一九一四年は二三四、七二六噸なり。又鋼鑄塊の製産高は一九一四年の六六、六〇三噸に對し一〇三、四七四噸なり。尙鋼製品の製産額は六八、六三四噸にしてその内譯は、

一五七八〇噸の軌條(重)、九五三噸の軌條(輕)、四三二噸のスリーパー及び繼目板、二八、四八一噸のジョイスト及びガーター、五八八一噸の山形鋼、丁形鋼、溝形鋼及び一七、一〇七噸の雜なり。(The Iron Age, Sept. 14, 1916)

●輸出入貨物品別表(大藏省發行の大正五年八月外國貿易)月表中鐵及鋼に關するもの左表の如し

第一 輸出貨物品別表

内國産品	大正五年八月		大正五年累計		大正四年八月累計	
	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)
鐵管(斤)	三三、七六二	四一、六九九	三、四三〇、二七三	四三三、五九八	六六、五、一六九	六六、三、八六
屑鐵及故鐵(斤)	二七〇、四七五	一九、〇〇七	三、七九二、五六九	一八一、一四三	六、九三三、五三三	一五、五、八八五
鐵鍋及鐵釜		三五、九四四		一七、六六八		三三、四六一
鐵製品		一、三〇八、二〇九		五、四〇七、四七九		一、六四七、〇九六
人力車(輛)	八三三	二八、八一九	四、七五七	一七九、九四六	四、九五〇	一、五七、二三三
船舶(汽船)	七	三八〇、〇〇〇	一九	一、〇六〇、〇九〇	八	四三三、五八〇
同(其他)		二五二		二二、五三五		三三五、八三九
機械同部分品及附屬品		一九八七、九七三		一一、六四七、〇四八		五、六五七、三四五
石炭(噸)	二六〇	五、二三〇	二、六四六	五〇、八二四	一、七三三	三五、七六七
石炭(噸)	三三、六九二	一、五五四、五九四	二、一〇六、四三六	一四、一四一、八〇三	一、八七六、二二二	一二、五四六、三九三

第二 輸入貨物品別表

外國産品	大正五年八月		大正五年累計		大正四年八月累計	
	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)
鐵(鑛擔)	六六六、四〇九	二四五、〇四四	二、七五八、六〇〇	九九九、三〇七	三、〇〇九、〇三〇	一、〇六二、九四一

外國產品	大正五年八月		大正五年累計		大正四年八月累計	
	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)
鐵 銑 (鐵(斤))	五六,九〇六,九三二	一,七五六,二七〇	二五六,〇〇七,八〇五	九〇〇,八一,一五四	一四五,七七一,六四六	三,三七二,三三五
スベロゲルアイゼン(斤)	一六九,三四四	一〇,三〇〇	一,二三八,〇四〇	六八,七〇二	七九五,九一七	三六,一四五
フエロシリコン及シリ(斤)	五九四,六四七	九九,四二四	二,七三二,二六八	三七六,一八六	二,七八四,四六二	二,三三,四〇一
コスビーゲルアイゼン(斤)	四九六,四九二	八三,三三三	二,四九〇,〇八一	三三八,七五〇	一,九二九,八六一	一八七,五九一
及 他不可鍛性鐵合金(斤)	一,六一八	六二五	一八七,三八二	五四,一〇七	一,六七一,六九〇	二九七,七四一
錠 及 他不可鍛性鐵合金(斤)	一,六一八	六二五	一八七,三八二	五四,一〇七	一,六七一,六九〇	二九七,七四一
フェロクロム其(斤)	一,六一八	六二五	一八七,三八二	五四,一〇七	一,六七一,六九〇	二九七,七四一
ピレオット及スラプ(斤)	一,六一八	六二五	一八七,三八二	五四,一〇七	一,六七一,六九〇	二九七,七四一
ケツグ及パンブースチル(斤)	一,六一八	六二五	一八七,三八二	五四,一〇七	一,六七一,六九〇	二九七,七四一
條竿テリアングル形鐵類(斤)	一八,五四七,〇七七	一,九三二,三三四	一四八,二九七,〇〇〇	一三,〇四七,八五三	五二,六四一,八二	二,七六六,六三三
ワイヤロツド(斤)	二,七三〇,三〇五	四二八,六三九	一七,七三三,九五二	二,一七六,六四三	七,三九三,三六七	四,五七,四五三
板 (金屬を鍍せざる)(斤)	八,四〇〇	一,〇九二	九四七,五四六	八八,〇七四	二二七,八三四	一一,八九三
板 (電鍍したる)(斤)	八六一,九一七	一一九,〇五七	三,五三三,一八五	四八六,七九一	三,九七五,一二四	三九一,三八一
板 (葉鐵葉鋼其他)(斤)	六,三三九,〇五九	一,〇〇四,一七六	四五,七五一,一二七	六七,二九一,〇三	二九,八三三,〇七七	三,〇三五,五一六
線 (金屬を鍍せざる)(斤)	四〇六,九五四	五九,七六三	三,三三三,二一四	三九〇,一〇八	二,五二八,四七九	一九八,八三四
線 (電鍍したる)(斤)	三,四五〇,六一九	五五七,六四五	二二,六三二,二一八	二,九二二,五四六	二六,二六二,八四三	二,一三七,八五七
帶 及 箍(斤)	二八七八〇五	四二,〇五三	三,七二七,四七五	四二一,〇九六	一,二六一,三六三	八六,〇六四
線 索 及 撚 合 線(斤)	一四四,四四三	三七,〇八八	五〇九,二二〇	一一七,九一〇	三五七,〇九五	六六,〇四四
筒 及 管(斤)	四八八一,八六三	六四七,五七九	二〇,〇四八,六五七	二,三〇〇,二五八	一〇,二〇七,八六七	八八〇,六四三
屑 鐵 及 故 鐵(斤)	一〇,五二四,一七三	三二九,八四五	二八六一五,七六一	九二九,四〇四	二,六五九,八一三	六〇,九五五

釘	類リベスツト	三、六七八〇九六	五九〇、七〇三	二九、二六、八七八	三、五〇六、四二二	三、三三八、〇三四	四四八、九九七
鐵道建設材料 <small>(其の他)</small>	鐵道建設材料 <small>(レール)</small>	四四三、一七二	四四、六八〇	二、一九七、七四四	一六九、二五七	一四、四三〇、一〇六	五六三、三三八
電線支柱同部分品 <small>(並架用材料)</small>	電線支柱同部分品 <small>(並架用材料)</small>	四五	三四四	三九、三六八	四、〇九六	二、七二〇	一、五四七
家屋橋梁船舶等建設材料	家屋橋梁船舶等建設材料	一七五、三八六	二九、二七七	一、六二七、〇三九	二四四、九七三	五、五一四〇	六、一二七
鐵道車輛及部分品	鐵道車輛及部分品	一四	二九、二四四	一、二七	一五九、八九九	一七	四二五、二〇六
自動車及部分品	自動車及部分品	一四	六八、一七三	一三	三九四、〇四三	一七	一一〇、四七六
自轉車及部分品	自轉車及部分品	五五	六五〇二	九九〇	六三、九九六	二、〇五五	一一一、五三六
汽船 <small>(船齡十年以下)</small> <small>(隻)</small>	汽船 <small>(船齡十年以下)</small> <small>(隻)</small>			一	六〇〇	二	一、八四〇、三二六
同 <small>(其 他)</small> <small>(隻)</small>	同 <small>(其 他)</small> <small>(隻)</small>			一	六〇〇	二	一、八四〇、三二六
汽罐同部分品及附屬品	汽罐同部分品及附屬品		一四一、三九三	二	二、三二六、七二六	四	四三三、九三三
フューエルエコノマイザー <small>(斤)</small>	フューエルエコノマイザー <small>(斤)</small>	二二、六二七	二、八三四	五九二、六九二	六八三、三〇九	五〇三、七〇三	三四五、九三三
鐵道機關車同炭水車	鐵道機關車同炭水車		三二、二四〇		七五、四六三		四四、六四一
蒸氣機關及スチームタービン	蒸氣機關及スチームタービン				二九、六八八		二二七、一三六
瓦斯石油熱氣機關	瓦斯石油熱氣機關	三、七八三	五、九八四	二七四、三五〇	二九、二七三	二八、九六一	一三五、九六一
ワオータータービン及ベルトン水車	ワオータータービン及ベルトン水車			二四八、五二〇	一一五、二〇五	一六八、二一八	八〇、九三四
發電機電動機類	發電機電動機類	一六七〇六	一三〇三三	三二五、九三六	一九二、六七二	七八一、九六六	四〇七、三三六
縫衣機	縫衣機	一六一、六四七	一〇九、〇四四	三三九、三九八	三四七、八八六	二二七、四三三	一四九、五二四
金屬工及木工機械	金屬工及木工機械	二四、三八八	一五〇、五五七	一、八五四、一九	九六五、五五三	一、七六三、七八八	六二八、七七九
紡績機	紡績機	六三、一六七	二〇八、一四七	三、五二七、三三六	一、〇二七、四八四	三、二〇三、九九八	八八一、八一三
石炭コークス <small>(石炭)</small> <small>(噸)</small>	石炭コークス <small>(石炭)</small> <small>(噸)</small>	四三、四三六	三五二、四二七	三六四、八二九	二七二六、六五七	四〇一、三五三	二、九一九、五五七

●大正五年七月中本邦鐵及重要金屬並炭坑產額表(農商務省鑛山局調)

鐵の產出狀況

鑛山名	所在地	大正五年七月	大正四年七月
釜石	岩手(銑)	七〇八、二七二	四八〇、五九六
釜石	鋼(銑)	四一五、〇三七	三五九、三五〇
仙八	同(銑)	七七、二四五	一〇六、一六九
栗木	同(銑)	五六、六一五	四八、九三四

重要金屬の產出狀況

金屬	大正五年七月	大正四年七月
金	一四一、五〇九	一四八、六八四
銀	三、〇四九、二八二	二、九三三、三四四
銅	一〇、八六九、〇九四	九、〇〇三、九九七

石炭の產出狀況

鑛山名	所在地	大正五年七月	大正四年七月
夕張	石狩	一三八、六六四、三四四	一三四、四〇五、〇四〇
眞谷地	同	一九、四一五、九二八	二一、〇〇二、三五二
新夕張	同	三七、六七〇、五八七	二四、九四四、八九二
空知	同	三二、七八三、一八四	二六、七五四、一六八
幾春別	同	一二、三八九、一六〇	一四、八八二、二八〇
幌內	同	二六、五九九、九四四	二三、四四三、七二八
奔別	同	一三、〇七九、一三六	一三、八二四、七二〇
三井登川	同	一五、三四八、九〇〇	二一、一九〇、一七六
大夕張	同	一二、四一八、九三〇	一三、一〇八、二〇〇
三菱美唄	同	三五、三八六、一七六	五、四〇六、二七五
入山	福島	四〇、七二五、一九一	六六、八五三、一九四
小野田	同	二九、九八二、〇〇〇	二七、四六〇、〇〇〇
内郷	同	六〇、六七〇、八六〇	四八、九九五、〇〇〇
王城	同	九、九七二、二五五	五、〇五四、五六〇
好間	同	三九、〇六四、二七四	三四、一四七、三八八
隅田川	同	一三、〇八二、四四〇	七、七二二、三五五
平	同	八、〇九九、七二三	九、〇九二、〇七九

茨城無煙	茨城	二〇、三五二、七九八	二四、九九四、六九四
重内	同	一〇、一八九、四一二	八、七九四、六七七
山口無煙	山口	七、二八七、九四三	六、一六、三九六
茨城	茨城	一九、〇九四、〇三九	一五、九三二、二六二
清田	同	六、〇三八、九三五	五、九二八、七〇〇
松浦	長崎	八、四四四、八五六	八、〇二二、〇〇〇
高島	同	二八、〇八九、〇一二	二七、七八六、〇二〇
松島	同	三六、四四五、九二〇	四二、五一八、〇一一
崎戸	同	四四、三五六、三〇〇	三三、一一六、七一四
香島	同	四、二四〇、二七五	四、七八八、四五〇
福山	山口	一二、六五四、七〇〇	一四、六一二、九〇〇
沖ノ山	同	三七、五七六、三〇〇	三二、一五六、〇〇〇
大嶺海軍	同	六、三六六、〇八三	八、五〇五、八六〇
東見初	同	一五、六七八、〇六〇	八、七五二、八〇〇
大正	福岡	八、八三八、二〇〇	三二、六九七、二八〇
大江	同	四三、一九一、五四〇	一一、四六五、四六四
高江	同	一六、二五二、四四四	二二、〇九八、七二〇
新海軍	福岡	一一、七六〇、〇〇〇	四三、二八四、七〇〇
新原海軍	同	四一、五七五、八三三	一四、三五四、七〇〇
岩崎	同	一三、三三三、三〇〇	一五、六九一、一一六
御徳	同	一四、一一七、三〇五	五一、八八二、六七〇
新入	同	五一、二四九、一七三	一一、二一七、〇〇〇
三好	同	一一、七九六、〇〇〇	七九、八三八、九二〇
大之浦	同	一一八、〇六九、八六〇	五九、三一七、七六〇
明治	同	六八、三一〇、四三四	三一、七〇四、九六〇
三井本洞	同	二九、九一〇、七二〇	五〇、五〇一、七九〇
鹽尾	同	六四、二六一、六四〇	一四、四〇三、八四四
目屋	同	二一、二一六、八九八	四〇、八五二、二九二
木屋	同	五二、五六七、四六八	二九、二四〇、四〇〇
金山	同	三四、二五三、五二〇	一五、三六七、四三六
大峯	同	一八、五四八、一九〇	一二〇、七二四、三八〇
赤池	同	一三一、五三二、一〇六	
三井田川	同		

久原	岩屋	杵島第二	芳谷	相知	杵島	福岡	姪濱	新目尾	宇美	野田	平山	泉山	三笠	旭山	龜山	高山	高松	大隈	中鶴	方城	三池	下山田	芳雄	三井山	豆野	鯨田	上山田	忠隈	二瀬	豐國	峯地
同	同	同	同	同	佐賀	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
六、五一、八六五	二六、三八三、三八〇	五六、七一〇、三一〇	五六、四二五、八四一	四九、六五八、五九九	一二、八四〇、七八〇	一六、八二二、一九〇	二二、六八一、五七九	七、三四〇、五九〇	六、六二九、二八〇	三、三〇九、六〇〇	一八、三一三、三五〇	九、六九一、九二〇	九、〇七一、五〇〇	一六、三四七、七三〇	一二、三三五、七三〇	一一、四四〇、〇一〇	一一、四〇七、八三〇	二一、六九五、五二〇	一四、〇六七、八三〇	三一、五三〇、九一二	二五、一、一二〇、四二四	二〇、三三五、一四〇	三四、七九一、一二〇	四九、五一九、六一三	一四、七八七、三六〇	六二、〇九四、四八〇	二五、三七三、一四〇	四七、〇四〇、一六八	八八、九九九、〇一七	七一、六六六、〇一六	七五、六一三、四四〇
一〇、四七三、六二四	二五、三一、五八〇	三七、二八五、六四〇	五〇、一二二、三九七	二七、八七四、八四六	九、六一三、四二〇	八、二五一、四四〇	一一、一九四、九六六	九、五四三、八四六	七、五七八、七六〇	五、七四〇、五六〇	一二、六五六、五〇〇	九、五三九、〇四〇	一一、二一四、八〇〇	一〇、四六三、九八〇	八、九四二、九二〇	九、七八八、九七四	九〇、一六〇、〇〇〇	九、六九六、九六〇	一八、三九六、八二三	二五五、二〇四、〇八四	一八、〇八九、一六〇	三四、二五六、〇〇〇	四三、五二四、八五二	一三、三〇三、九二〇	五五、六六六、四六四	二五、〇一三、五七〇	五一、〇二七、三八〇	八六、二〇六、三八三	六四、五七六、一六二	七〇、八七七、五二〇	

統計

◎米國軌條產出高 米國鐵鋼協會の調査報告

年次	平爐鋼	轉爐鋼	複壓延	電氣鋼	鍊鐵	合計
一八九七	五〇〇	一六四、五三〇	×	—	—	二八七三
一八九八	一、三〇〇	一七六、六一〇	×	—	—	三、三三九
一八九九	五三三	二二七、〇五五	×	—	—	一、五九二
一九〇〇	一、三〇〇	二三八、六五四	×	—	—	六九五
一九〇一	三、〇三三	三八七、〇八六	×	—	—	一、七三〇
一九〇二	六、〇三九	二九三、三九二	×	—	—	六、五二二
一九〇三	四、〇四四	二九四、六七六	×	—	—	六、六七
一九〇四	一、四五六、八八三	三、二七、九七七	×	—	—	八七一
一九〇五	一、八三、六四四	三、一九三、三三七	×	—	—	三、三七五、九二九
一九〇六	一、六八、四三三	三、七九、四九九	×	—	—	一、五
一九〇七	二、五七、七四四	三、三八〇、三三三	×	—	—	九三五
一九〇八	五、七、七七一	一、三四九、一五三	×	—	—	三、六三六、五四四
一九〇九	一、三五六、七四四	一、七六七、一七一	×	—	—	七二
一九一〇	一、七五、一五九	一、八八四、四四二	×	—	—	一九、二〇五
一九一一	一、六六、九三三	一、〇五、四三〇	×	—	—	三、〇三三、八四三
一九一二	二、〇五、一四四	一、〇九、九九六	×	—	—	三、六六六、〇三一
一九一三	二、五七、七〇〇	八、七、五一	×	—	—	二、三〇
一九一四	一、五五、八五一	三、三、八七	×	—	—	二、三三、七九〇
一九一五	一、七五、六八	三、六、九五一	×	—	—	三、三三、七九五

\* 一九〇九年及一九一〇年は產出高少なきを以て轉爐鋼及平爐鋼の部に算入せり。  
 × 一八九七年より一九一〇年に至る產出高は轉爐鋼及平爐鋼の部に算入せり。  
 本表の單位は噸を以て表はす  
 本表は重軌條及輕軌條をも含む